

イベント後に記念撮影する参加者ら＝11日、銀座NAGANO（林さん提供）



都内の「縄文トーク」盛況

林さん（岡谷市出身）企画

岡谷市出身の林美貴さんが富士見町の井戸尻考古館の小松隆史館長、新潟県中魚沼郡津南町苗場山麓ジオパーク推進室の佐藤雅一室長と協力し、10、11の両日、都内で対談形式のトークイベントを開いた。会場では両地域から本物の縄文土器が2点ずつ展示され、2日間で約130人が集まり、盛況だった。

林さんは都内で不定期開催のイベントを開いており、コロナ禍前には小松館長、佐藤室長を別々に講師に招き、個別のトークイベントをそれぞれに開いた経緯がある。20年に2人の対談イベントを企画

していたが、新型コロナウイルスの感染拡大で中止となっていたため、3年越しの企画が実現した。

会場は10日が東京・表参道にある新潟県のアンテナショップ「ネスパス」など2カ所、11日が「銀座NAGANO」。両地域の縄文文化や発掘された土器などの紹介が行われ、会場には小学生の姿もあり、多くの来場者が熱心に聞き入っていた。

林さんは「縄文の魅力はもろろん、小松館長、佐藤室長やかかわる皆さんの熱量によってようやく実現できた。今後はぜひ、両地域を結ぶツアーなどを企画したい」と振り返った。

（野村知秀）